

TEAM IMPUL

Race result report



2014年 SUPER FORMULA シリーズ 第2戦
静岡県 富士スピードウェイ
(2014年5月17日～5月18日)

Hoshino Racing Co.,Ltd.

SUPER FORMULA 2014 Round2

FUJI SPEEDWAY Race Report 2014.5.17~18

LENOVO TEAM IMPUL No.19 J.P de Oliveira

No.20 Narain Karthikeyan



LENOVO 完勝! ランクも急接近

SUPER GT第2戦優勝の余韻を残しつつ同じ地、富士でのSUPER FORMULAを迎えました。いいイメージで挑めると同時に、開幕戦鈴鹿で残したチームオペレーションの課題等も解消し、いいレースを見せていかねばなりません。今回は決勝レースがピットイン義務なしのレース1、そしてピットイン義務有りのレース2の2ヒート制で行われる注目のレース。SUPER FORMULAでも今季初優勝を目指します。

JP抜群のスタート



セカンドグループで力走するナレイン



5/17(土)公式予選 天候:晴れ コース:ドライ 気温:23℃ 路面温度:38℃

富士山がくっきり見える素晴らしい天気となった富士スピードウェイ。公式予選はノックアウト方式で行われました。ただ今回は若干変則のノックアウト予選で、レース1のスターティンググリッドは20分間で行われるQ1の結果で決するため、Q1から極限の攻めの走りが求められることとなります。レース2はQ1~Q3の通算結果でスターティンググリッドを確定します。レース1、2ともにスプリントレースなので、予選の結果が決勝レースの展開に大きな影響を及ぼす非常に大事な予選となりました。朝のフリー走行でも、特にオリベイラは好調でトップタイムをマークし予選に臨みました。

Q1は14:15よりオンタイムで始まりました。アタック時間は20分。コースオープンと同時にオリベイラ、カーティケヤンともにユーズドタイヤでコースへ飛び出していきます。オリベイラは残り13分の時点でのトップタイム、1.23.956をマークし一旦ピットへ戻ります。そして残り6分を切ったところでもちにニュータイヤを装着、最後のアタックへ向かいます。オリベイラは1.23.204を記録しタイムを縮めますが、続く周回の最終アタックで1.23.108と自らのタイムを更新し、見事Q1トップ通過とともに、レース1のポールポジションを獲得しました。カーティケヤンはタイムが伸び悩み、1.24.085で9位に終わりました。

続くQ2は14:45にスタート。7分間のアタックでQ3に進出する8台を決めます。オリベイラ、カーティケヤンとLENOVO TEAM IMPULの2台が先陣を切ってコースインしていきました。残り2分10秒のところでもオリベイラが1.23.075でトップに立ちます。続いてアタックに臨みますが、残り1分、プリウスコーナーでコースアウトしたマシンがあり、赤旗が提示されます。マシン回収が終わると2分50秒の延長となりますが、オリベイラは余裕でピットにとどまります。ライバル勢もオリベイラを超えることができず、Q2もトップで通過を果たしました。カーティケヤンは1.23.813で23秒台に突入してきますが、当落上8位でQ2通過に留まりました。

No.19ファン親子が待つポールポジション



トヨタのトークショー



Q3はQ2で赤旗中断があった影響で、若干遅れて15:08から始まりました。Q2と同じく7分間のアタック時間。朝のフリー走行を含め3セッション連続トップタイムを記録しているオリベイラは気合が入っています。カーティケヤンを従えて先頭でコースインしていきます。コースイン3周目のアタックでセクターベストを記録しつつ最終セクター3に突入していきますが、プリウスコーナーでリアを滑らす痛恨のミスで1.24.480のタイムとなりますが、続いてアタックを敢行。1.23.706をマーク、2位につけます。そのままアタックを続けますが先にタイムを出したNo.36アンドレ・ロッテラー選手(PETORONAS TEAM TOM'S)には届かず、2位フロントローの結果となりました。カーティケヤンも自己ベストを短縮するタイムで上位を追いますが、残念ながら8位から決勝レースをスタートすることとなりました。

5/18(日) 決勝レース1 天候：晴れ コース：ドライ 気温：22℃ 路面温度：33℃
決勝レース距離 4.563km× 25laps = 114.075km
ピットストップ義務なし

土曜日に引き続き晴天の富士スピードウェイ。2レース制で行われた今回の決勝は、朝10時過ぎよりレース1が行われました。オリベイラがPPから、カーティケヤンが8番グリッドからスタートしました。フォーメーションラップ開始前、カーティケヤンがグリッドを離れられずヒヤッとさせる一面もありましたが、2台はスタートを順当に決めました。特にオリベイラは非常に素晴らしいスタートを切り、余裕を持って1コーナーに進入、早速1周目から後続を突き放しにかかります。オリベイラは1周目を終えて早速2位のマシンに1.4秒差をつけます。ピットストップなしの超スプリントレースということもあり、やはり序盤から混乱が起きます。1コーナーや第3セクターで中団のマシンがクラッシュやマシンストップさせる場面がありましたが、カーティケヤンはそれをうまく回避、7位へと順位を上げます。オリベイラは順調な周回、4周目にはこのレース1のファステストラップ、1.24.834のタイムをマークします。0.1秒を削る予選並みのレースが繰り広げられました。一方のカーティケヤンは前のマシンを追いつけるに至らず、中団に埋もれる展開に苦戦します。その後は大きな混乱もなく、見事オリベイラがレース1をポールtoウィンで飾り、昨年未勝利に終わった悔しさを晴らし、レノボ・ジャパンに初勝利をプレゼントすることができました。カーティケヤンは7位でフィニッシュしました。

中嶋をブッチギリの
+4.7秒



優勝インタビュー



JP、レース2のスタートは中嶋を抑え2位で…
ナレインは好スタートで8位から4位へ



ライバル同士健闘を讃え合う



5/18(日) 決勝レース2 天候: 晴れ コース: ドライ 気温: 22℃ 路面温度: 34℃
決勝レース距離 4.563km× 35laps = 159.705km
ピットストップ義務有り

レース2もさわやかな五月晴れのもと行われました。オリベイラが2番グリッドから、カーティケヤンが8番グリッドからスタートです。オリベイラは、当然トップをうかがっていきませんが、スタートはレース1ほど良くなく、逆に3位のNo.37中嶋一貴選手(PETORONAS TEAM TOM'S)に接近されますが、2位のまま1コーナーへ進入していきます。カーティケヤンは抜群のスタートダッシュを決めて、順位を4つ上げ、4位となります。オリベイラはトップ、No.36アンドレ・ロッター選手(PETORONAS TEAM TOM'S)との差縮めるべくプッシュしますが、1.6秒〜1.4秒の差のままなかなか詰めていくことができません。この両雄の戦いは抜きん出た2強の争いでした。10周目あたりからルーティーンのピット作業を始めるマシンが出る中、LENOVO TEAM IMPULはオリベイラを12周目に、カーティケヤンを13周目にピットインさせコースに復帰します。全車ピット作業を済ましたところで、オリベイラは2位、カーティケヤンは順位を下げ5位。カーティケヤンは順位を取り戻すべくプッシュしていきますが、逆に後続に突かれる厳しい展開の中、プリウスコーナーで痛恨のコースアウト。オリベイラとトップの2台は3位以下に12秒の差をつけていく非常にレベルの高い次元でのバトルを繰り広げます。17周目にはファストラップ1.25.047を記録しながら追い上げますが、オーバーテイクには至らず。しかしオリベイラは2位表彰台を獲得し、レースウィークを締めくくりました。カーティケヤンは6位でしたが、ポイントを獲得しレースを終えました。

チームは鈴鹿での失敗を修正し、シリーズ争いへの足がかりを築きました。マシンの速さもあります。ライバルは強力ですが全員で戦って行きます。皆様の応援を心より感謝申し上げます。

チームインパル ゼネラルマネージャー

金子 豊

LENOVO TEAM IMPUL 2014年シーズン ここまでの戦績

第1戦	鈴鹿	オリベイラ	予選5位	決勝7位	／	カーティケヤン	予選2位	決勝リタイア
第2戦	富士	オリベイラ	予選PP・2位	決勝優勝・2位	／	カーティケヤン	予選8位・8位	決勝7位・6位

ドライバーランキング オリベイラ 3位 ／ カーティケヤン 9位 (第2戦富士終了時点)

チームランキング LENOVO TEAM IMPUL 3位 (第2戦富士終了時点)

TEAM IMPUL Race Information

SUPER GT 第3戦 5/31(土)〜6/1(日) オートポリス

SUPER FORMULA 第3戦 7/12(土)〜13(日) 富士スピードウェイ



それぞれのエンジニアと
ディスカッション



レノボのスタッフとスタートを見守る

監督・ドライバーからのコメント

星野一義

このレースウィーク、JPの走りは素晴らしかった。去年はアンドレとロイックとの差を詰めることが出来なかったが、今年は勝負が出来ている。チャンスはあると思う。ナレインは他のレースに出場していない面が不利になっていると思う。走行をするたびにタイムが上がっていくので GT に乗ればいいなあ。



グリッドでのナレインとダニー

NO.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

予選 Q1 は車の調子が良くて、ポールが獲れてうれしかった。Q2 もよかった。Q3 はタイヤのいい状態の時に第3セクターでミスしポールを逃した。レース1は抜群のスタートが出来て完全なレース運びが出来た。久しく勝てなかったし、うれしかった。レース2はスタート狙っていたが、レース1のようにうまくいかず中嶋に並ばれた。アンドレとの勝負は 0.1 秒差を攻めあうレースだったが、彼も速いしミスしなかった。車も調子いいし、これからもプッシュするよ！

No.20 ナレイン・カーティケヤン

テストの時と違い、路面温度が上がリフィーリングを修正するのに苦労した。第2レースで山本に抜かれたのは僕のミス。1～4 位タイムとはちょっと離れているので頑張っていかなばならない。

協賛各社様

トヨタ自動車株式会社

レノボ・ジャパン株式会社

株式会社ブリヂストン

EMG マーケティング合同会社

エンケイ株式会社

日本特殊陶業株式会社

株式会社不二 WPC

タタ・モーターズ

株式会社アライヘルメット

プーマジャパン株式会社

株式会社銀座千疋屋

キーバ株式会社

株式会社ホシノインパル

順不同・敬称略



SF RESULT: 決勝 1 結果

天候: 晴れ コース: ドライ 気温: 22℃ 路面温度: 33℃

■ Race1 (25Laps)							2014.5.18
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリ ペイラ Joao Paulo Lima De Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	25	35'37.680	191.598km/h	1'24.834
2	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	25	35'42.883	5.203	1'25.261
3	8	ロイック・デュバル Loic Duval	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	25	35'44.759	7.079	1'25.240
4	36	アンドレ・ロットラー Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	25	35'45.402	7.722	1'25.089
5	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	25	35'54.238	16.558	1'25.460
6	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14 TOYOTA RI4A	25	35'55.167	17.487	1'25.684
7	20	ナレイン・カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	25	36'04.107	26.427	1'25.785
8	11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14 Honda HR-414E	25	36'16.127	38.447	1'26.292
9	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	25	36'18.107	40.427	1'26.239
10	41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-414E	25	36'20.877	43.197	1'26.401
11	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14 TOYOTA RI4A	25	36'27.145	49.465	1'26.606
12	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	25	36'31.959	54.279	1'26.650
13	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	24	36'49.281	1Lap	1'25.281
以上完走							
	1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	19	28'06.374	6Laps	1'26.223
	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14 Honda HR-414E	18	26'11.705	7Laps	1'26.319
	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	1	1'35.262	24Laps	
	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	0			
	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	0			
	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	HP SF14 Honda HR-414E				

開始時刻: 10:08'45

車両: SF14 / タイヤ: プリヂストン

終了時刻: 10:44'22.680

規定周回数 22

FASTEST LAP: No.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリペイラ /

Lenovo TEAM IMPUL SF14 1'24.834 4/25 193.635km/h

SF RESULT: 決勝 2 結果

天候: 晴れ コース: ドライ 気温: 22℃ 路面温度: 34℃

■ Race2 (35Laps)							2014.5.18
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Laps	Time	Delay	BestTime
1	36	アンドレ・ロッター Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	35	50'45.074	188.450km/h	1'25.120
2	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo Lima De Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	35	50'48.571	3.497	1'25.047
3	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	35	51'01.617	16.543	1'25.481
4	8	ロイック・デュバル Loic Duval	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	35	51'06.143	21.069	1'25.548
5	1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	35	51'10.553	25.479	1'25.676
6	20	ナレイン・カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	35	51'17.633	32.559	1'25.543
7	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	35	51'25.877	40.803	1'25.584
8	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	35	51'27.375	42.301	1'26.317
9	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	HP SF14 Honda HR-414E	35	51'27.946	42.872	1'26.036
10	11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14 Honda HR-414E	35	51'34.175	49.101	1'26.323
11	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	35	51'34.552	49.478	1'25.076
12	41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-414E	35	51'40.758	55.684	1'26.389
13	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14 TOYOTA RI4A	35	51'46.288	1'01.214	1'26.287
14	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	35	51'50.518	1'05.444	1'26.397
15	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14 Honda HR-414E	35	51'51.219	1'06.145	1'25.634
16	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	35	51'53.414	1'08.340	1'26.316
17	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14 TOYOTA RI4A	35	51'53.844	1'08.770	1'25.737
18	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	34	51'21.591	1Lap	1'26.145
以上完走							
	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E		DNS		

開始時刻: 14:33'42

車両: SF14 / タイヤ: プリヂストン

終了時刻: 15:24'27.074

規定周回数 31

FASTEST LAP: No.19 ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ /

Lenovo TEAM IMPUL SF14 1'25.047 17/35 193.150km/h

SF RESULT: 予選結果

天候：晴れ コース：ドライ 気温：23℃ 路面温度：38℃

■ Qualifying				2014.5.17		
Po.	No.	Driver	Car Name / Engine	Q1	Q2	Q3
1	36	アンドレ・ロッターレ Andre Lotterer	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'23.325	1'23.314	R1'22.572
2	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo Lima De Oliveira	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'23.108	1'23.075	R1'22.706
3	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	PETRONAS TOM'S SF14 TOYOTA RI4A	1'23.512	1'23.189	1'22.741
4	39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'23.395	1'23.232	1'22.788
5	8	ロイック・デュバル Loic Duval	Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'23.211	1'23.330	1'22.972
6	7	平川 亮 Ryo Hirakawa	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 TOYOTA RI4A	1'23.602	1'23.440	1'23.202
7	1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	1'23.956	1'23.396	1'23.234
8	20	ナレイン・カーティケヤン K.R.Narain Karthikeyan	Lenovo TEAM IMPUL SF14 TOYOTA RI4A	1'24.085	1'23.813	1'23.253
9	38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14 TOYOTA RI4A	1'23.687	1'23.842	
10	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	フジ・コーポレーション KONDO SF14 TOYOTA RI4A	1'24.235	1'23.882	
11	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14 TOYOTA RI4A	1'24.513	1'23.927	
12	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40T SF14 Honda HR-414E	1'24.480	1'23.984	
13	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	HP SF14 Honda HR-414E	1'24.294	1'24.354	
14	31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	1'24.367	1'36.733	
15	41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	DOCOMO DANDELION M41Y SF14 Honda HR-414E	1'24.663		
16	2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	TEAM 無限 SF14 Honda HR-414E	1'24.727		
17	62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	DENSO Le Beausset SF14 TOYOTA RI4A	1'24.773		
18	11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	HP SF14 Honda HR-414E	1'25.085		
19	32	小暮 卓史 Takashi Kogure	NAKAJIMA RACING SF14 Honda HR-414E	1'25.287		

Q2：赤旗提示時刻：14:50 - 14:55

車両：SF14 / タイヤ：ブリヂストン

予選通過基準タイム (Q1-107%) 1'28.925

R：コースレコード

Q1：No.18 シリーズ統一規則第3章第28条1(走路外走行)違反により、違反周回数(ベストタイム)を削除した。

SF RANKING

■ Driver ranking

Po	No	Driver	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Total
1	8	ロイック・デュバル	10	3	2.5					15.5
2	36	アンドレ・ロッテラー	5	2.5	6					13.5
3	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	2	6	4					12
4	37	中嶋 一貴	3	4	3					10
5	3	ジェームス・ロシター	8	1.5	–					9.5
6	38	石浦 宏明	6	–	–					6
7	7	平川 亮	5	–	0.5					5.5
8	39	国本 雄資	–	2	1					3
9	20	クマール・ラム・ナレイン・カーディケヤン	–	1	1.5					2.5
10	1	山本 尚貴	–	–	2					2
11	11	ヴィタントニオ・リウッツィ	1	0.5	–					1.5
	10	塚越 広大	–	–	–					
	41	武藤 英紀	–	–	–					
	62	嵯峨 宏紀	–	–	–					
	31	中嶋 大祐	–	–	–					
	40	野尻 智紀	–	–	–					
	18	中山 雄一	–	–	–					
	2	中山 友貴	–	–	–					
	32	小暮 卓史	–	–	–					

■ Team ranking

Po	Team	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	7	6.5	8					21.5
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	15	3	3					21
3	Lenovo TEAM IMPUL	2	6	5.5					13.5
4	KONDO RACING	8	1.5	–					9.5
5	P.MU/CERUMO-INGING	6	2	1					2
6	TEAM 無限	–	–	2					1.5
7	HP REAL RACING	1	0.5	–					
	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	–	–	–					
	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	–	–	–					
	NAKAJIMA RACING	–	–	–					
	KCMG	–	–	–					



ウィングランの JP